

中山間地域の生物多様性の保全活動も支援していきます

令和2年10月15日

広島北部森林管理署

全国には、約2,500万haの森林があります。森林の約61%が私たちの暮らす中山間地域(山村振興地域)にあります。

これらの地域には、森林のほかに田、里山、河川、湖沼などがあり、それらは多様な生物の生息環境ともなっています。

広島北部森林管理署管内の三次市吉舎町にある国土交通省管理の灰塚ダム知和ウエットランド周辺にも、2006年にコウノトリが飛来するなど豊かな自然が残っています。知和ウエットランドでは、コウノトリの再飛来を期待して、様々な取組をこれまでも行っており、11月15日には、「夢プロジェクト コウノトリきんさい作戦」と題したイベント(広島北部森林管理署共催イベント)を行うこととしています。

コウノトリきんさい作戦では、知和ウエットランド内のある人工巣塔に巣づくりに必要な広葉樹の枝を用いて人工的に巣をつくります。

広島北部森林管理署では、このイベントに先駆けて、10月15日令和2年度森林整備事業(生産事業)を終えた俵原山国有林に散在している広葉樹の枝をコウノトリの巣づくりの材料として提供しました。



巣づくり材料を集めました



巣づくり材料となる広葉樹の枝

広島北部森林管理署では、コウノトリの巣づくり材料の提供等を通じた地域の生物多様性の保全活動についても支援していきます。